

令和7年度ふるさと人材・地域づくり推進事業

「持続可能な地域づくり充実事業」活動報告

《テーマ》地域資源を活用した家庭科の授業

《活動内容》 3年生活文化コース16名が3グループに分かれて活動。

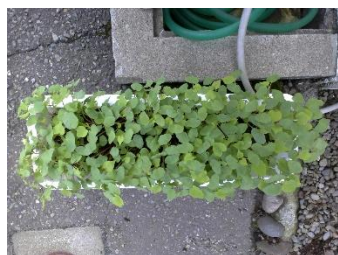
①食品ロス対策！そばつゆの出汁殻を活用したおにぎりの販売

道の駅うご端縫いの郷と連携して、蕎麦つゆを調理する過程で出る昆布とかつお節の出汁殻を使ったおにぎりを考案した。全校生徒におにぎりに関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに、「昆布の佃煮」と「マヨおかか」の2種類を試作した。10月の学校祭で販売したところ、年代問わず購入していただけて好評だった。また、1月には道の駅うごで研究発表および販売会を行った。農林水産省主催「みどり戦略学生チャレンジ」にも応募することができた。



②羽後名物「そば」の花・葉・実を活用したアクセサリーの販売

若い世代の方にも羽後町に興味をもってもらいたいと思い、羽後名物の「そば」を使ってアクセサリーを製作し、学校祭で販売した。そばの苗を地元のそば店「彦三」さんから譲っていただいて栽培した。花・葉・熟す前の緑色の実・熟した後の茶色の実を収穫して、キーホルダー、ブレスレット、しおりを製作した。最初は花を使う予定だったが、緑の実や葉もとてもきれいで活用できることが分かった。



③地元菓子店と連携した SNS 映えするスイーツの販売

若い世代の方にも羽後町や羽後高校に興味をもってもらいたいと思い、地元菓子店「ラグドール」さんの協力を得て SNS 映えするスイーツを考案し、10月の学校祭で販売した。ハロウィンにちなみ、オバケのデコレーションを自分たちで行った。価格や日持ち、保存方法なども考えて考案することが難しかったが、お客様に喜んでもらえて嬉しかった。

